

国保データベースシステムデータ分析による
健康リスクの整理・分析（メタボリスク指標分析）等業務委託
仕様書

1 委託業務の概要

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学（以下、「発注者」という）では、神奈川県より「令和7年度未病関係市町村データ分析等業務」（以下、「神奈川県委託業務」という）を受託し、県内市町村の保健事業の有効性の向上を目的として、県内市町村が保有する健康関連データ、未病指標の測定データや未病改善の取組に関する情報等を分析し、その分析結果を神奈川県及び県内市町村に提供している。本業務は、神奈川県委託業務のうち、将来のメタボリックシンドロームのリスクを評価するための指標である「メタボリスク指標」を用いた国保データベースシステムデータ（以下、「KDB データ」という）の分析による健康リスクの整理・分析を行うものである。

2 契約期間

契約締結日から令和8年3月19日まで

3 業務内容

- (1) 神奈川県が所有・提供する KDB データ（健康診断データ）を用いて、県全体および県内各市町村における住民の健康状態の変化について分析を行う。具体的には、各市町村の健康診断結果（BMI、腹囲、血圧、総コレステロール、中性脂肪、HbA1c など）を対象に、各項目の傾向および特徴の把握を行い、年度別推移や時系列的な変化の分析、データ項目間の相違点などの比較検討を行う。

併せて、松田町、開成町、中井町、大井町、山北町の5市町村（以下、「対象市町村」という）において、市区町村内の地区別の分析を実施するとともに、当該市区町村全体の健康診断情報と県全体の健康状態の変化を比較し、分析する。

- (2) 神奈川県が所有・提供する KDB データ（健康診断データ）を用いて、市町村住民の顕在化していない将来の「メタボリックシンドローム」の健康リスクを整理・分析する。具体的には、メタボリックシンドロームの潜在リスク指標である「メタボリスク指標」を用いて、県全体及び県内全市町村ごとの将来メタボリックシンドロームになるリスクを3段階で評価を実施する。

併せて、松田町、開成町、中井町、大井町、山北町の5市町村（以下、「対象市町村」という）において、市区町村内の地区別の分析を実施するとともに、当該市区町村全体のメタボリスクと県全体のメタボリスクの分布を比較し、分析する。

- (3) (1) および (2) に関連して、対象市町村ごとに探索的な解析を実施し、分析する。

4 業務の成果物

(1) 成果物

3 業務内容 (1)、(2) および (3) について、それぞれ下記の成果物を作成する。

- ① 神奈川県全体及び全市町村データ分析報告書 1 部 (PDF 等の電子文書ファイル形式)
- ② 対象市町村別の分析結果報告書 5 部 (PDF 等の電子文書ファイル形式)
- ③ 上記①及び②の元データ (pptx ファイル形式)

(2) 提出期限

- ・ 3 業務内容 (1) および (2) について 令和 7 年 10 月 6 日
- ・ 3 業務内容 (3) について 令和 8 年 1 月 16 日

(3) その他

- ・ 分析報告書は、地域の健康課題や特性が、専門的知識のない者にも理解可能なよう、図や表等を用いて作成すること。
- ・ 県内市町村の効果的な保健事業の実施のため、対象市町村以外の市町村に対しても本事業の分析方法や分析結果について情報提供が可能となるよう、報告工夫すること。また、分析結果提供用資料は電子データを提供すること。本業務の実施結果について、契約期間内に発注者に提出すること。

5 その他の留意事項

- (1) 本仕様書の内容等について疑義が生じた場合は、その都度発注者と協議の上、その指示に従い本業務を進めるとともに、発注者は委託期間中いつでもその進捗状況の報告を求めることができるものとする。
- (2) 受注者は、業務上知り得た情報を厳重に管理し、関係者の外に漏らし、又は本業務の履行のため以外の目的に使用してはならない。なお、契約期間が終了した後でも同様のものとする。
- (3) 本業務の実施に当たり、委託契約期間中に生じた (1) から (2) 以外の事項、詳細等については、発注者と受注者との間で随時協議して決定する。